

広報誌で紹介した写真またはデータ希望者に提供します。

●お申し込み●

秘書課広報広聴係 ☎ 23-3069 へ

北方圏ユースエコフォーラム

(8月3日～6日)

北方圏の高校生が環境問題に理解を深め、各国の交流を深めようと北方圏フォーラムが主催する「ユースエコフォーラム」が道民の森で開かれました。ロシア、アメリカなど5カ国8地域から27人の高校生と道内の高校生20人が、「自然環境と人間の関わり」をテーマに分科会や視察を行い、道民の森の宿泊棟で3泊4日を共に過ごしました。

3日目には、西当別コミュニティセンターで町主催の歓迎交流会が開かれ、泉亭町長の挨拶では、ロシア語と英語のスピーチを交えながら各国からの高校生の来町を歓迎しました。

また町ボランティア連絡協議会の方が、町内の食材を使った心のこもった数々の日本料理でもてなしました。

食事の合間に和太鼓や、餅つき、茶道などの日本文化を体験した各国の高校生は、言葉の壁を越えて楽しいひと時を過ごしました。



講義を聞き入る



当別太鼓で歓迎



書道に挑戦



茶道でおもてなし



お土産を贈呈

岩出山・当別ジュニアリーダーが交流

(8月3日～5日)

宮城県岩出山町の中・高校生でジュニアリーダーとして活躍する24人が来町し、本町ジュニアリーダーと交流しました。

ジュニアリーダーは、中・高校生が地域のリーダーとして活躍できるように青少年健全育成事業に積極的に取り組んでいる子供たちで、初日に西当別コミュニティセンターに岩出山の子供たちを乗せたバスが到着すると当別のジュニアリーダーが「こんにちは。ようこそ!」と元気いっぱいに出迎えました。

「到着セレモニー」で当別町ジュニアリーダー団長大坪慎君(高校2年生)が「皆さんと一緒に笑ったり、はしゃいだり、真剣に考えたりしながら内容の濃い3日間を過ごしましょう」と歓迎しました。

2日目は、スウェーデンヒルズの散策、災害救援ネットワーク北海道の方と炊き出し実習の豚汁づくりを行い、夜には町青山交流館でキャンプファイヤーを囲み、お互いの地域の情報交換やダンス交流で友情を深めました。



大坪君が歓迎の挨拶



医療大学生のチャリティーイベント

(8月21日～22日)



北海道医療大学生が日本テレビが行う24時間テレビ「愛は地球を救う」に協賛したチャリティーイベントを開催しました。メイン会場の阿蘇公園では、募金活動が行われたほか、1日目に近郊の大学などのよさこいソーランや町内子供ジャズダンスサークルの軽快な踊りが披露され会場を盛り上げました。

阿蘇少年野球場には、学生と町内の障がいのある子供たちと親が空き缶約5,500個でふくろうと地球を描いた巨大アート(縦5m・横9m)をバックネットに展示した中、24時間プレーを続けるティーボールが開始、時折、テレビ中継も行われながら翌日の15時まで町民や団体42チーム420人が参加してゲームを楽しみました。

医療大学生や町内団体の出店前には、車椅子が移動しやすいようにベニヤ板を敷きつめたり、障害者用トイレを用意するなど障がいのある方も参加しやすい工夫が凝らされ、子供からお年寄り、障がいがある方まで多くの町民がフィナーレまで賑わいました。

切花品評会で農林水産大臣賞

(7月23日)



北海道庁赤レンガで行われた「第24回北海道切花品評会」で大江正人さん(東裏)が出品したカラー「ブラックマジック」が最高賞の農林水産大臣賞に輝きました。

高い栽培技術を誇る本町の花卉農家は、例年好成绩を収めていて、今年も大江さんをはじめ、中田恵一さん(東裏)が農林水産省生産局長賞受賞など7名の方が入賞しました。

チャリティーゴルフで募金

(8月8日)

町共同募金会(工藤はる子会長)が主催した「第5回赤い羽根・歳末たすけあいチャリティーゴルフ大会」が、ハッピーバレーゴルフ場で行われました。大会趣旨に賛同した町内外173人の参加費の一部を募金に充てたほか、チャリティーホールを設けて寄付を募ったり、ゴルフ用品オークションなどで、約40万円が集まりました。町出身の落語家柳亭痴楽さんも来町して参加者とゴルフを楽しみました。



スウェーデンプラザで太美振興会祭

(8月8日)

太美駅前スウェーデンプラザを会場に太美商工振興会の主催で恒例の夏祭りが開催され、子供から大人まで2,500人が暑い夏のひとときを過ごしました。当日は、小学生を対象としたラムネの早飲み大会、大人のビールの早飲み大会やお楽しみ抽選会などで来場者を楽しませていました。

